内閣府の取り組み「夏のリコチャレ2021」に賛同して、高校生向けのイベントを開催しました

旭化成株式会社　　2021年08月17日

旭化成株式会社は、内閣府が中心となって推進している理工系人材育成のための「理工チャレンジ（リコチャレ）」に、日本経団連の一員として賛同し、2015年より始まった「夏のリコチャレ」にも協力して、これまでイベントを実施してまいりました。2021年も、理工系に興味のある高校生を対象に、将来の自分の姿をイメージしてもらい、理工系の進路を選択（チャレンジ）できるよう支援する機会を提供することを目的に『理系の職場見学会 知ろう見よう！』と題して、8月10日（火）に、オンライン形式にて、イベントを開催しました。

本イベントには、東は岩手県から西は宮崎県まで、さまざまな地域・場所から148名の高校生が参加しました。
参加者の皆さんは、まず最初に旭化成グループおよび富士支社について、クイズを交えながら知り、その後、申し込みの際に希望したＡ：「科学・分析のシゴト～身近なものを分析してみよう～」とB：「住まいのシゴト～住宅の実験施設＆最新の住まいを見学～」の2コースに分かれました。
Aコースは基盤技術研究所、Bコースは住宅総合技術研究所の研究員より仕事内容を紹介する講義や身近なものを使っての実験、また研究所の中を装置の説明をしながら案内する「研究所見学ツアー」の動画などを視聴することを通じて、研究者・技術者の働く現場への理解を深めました。そして最後は、参加者の中から抽選で選ばれた皆さんが、当社研究員との交流会に臨み、日頃の悩みや疑問をぶつけ、活発なディスカッションを交わしました。

この「理工チャレンジ」への協力を通じて、当社は、理工系に進学し就職する学生を支援し、企業における理系の従業員のいっそうの活躍を推進していきたいと考えています。

イベント当日の様子

以上